

総社市の財政

(財政事情の公表)

令和2年度 決算の概要
令和3年度 上半期財政運営状況

令和3年 11 月

総社市総務部財政課

令和2年度 一般会計決算の概要

- 令和2年度総社市一般会計決算は、歳入決算額360億8,141万6千円に対し、歳出決算額349億2,781万円で、差し引き11億5,360万6千円の残額を生じています。このうち、繰越明許費の繰越財源分2億7,332万6千円を差し引いた実質収支額は、8億8,028万円となっています。
- 歳入は、令和元年度と比べ、65億1,431万円の増額となっています。法人市民税や、平成30年7月豪雨災害関連経費の減少による特別交付税などが減額していますが、新型コロナウイルス感染症対策や、GIGAスクール構想などに関する国庫支出金が79億3,800万円増額しています。また、寄附金についても、ふるさと納税寄附金やそのほか指定寄附金などで9,300万円増額となっています。

なお、歳入のうち、市税などの市独自でまかなうことのできる自主財源は、全体の31.7%となっており、多くが地方交付税や国・県からの補助金、市債などの財源に依存しています。
- 歳出は、令和元年度と比べ、58億5,524万9千円の増額となっています。地食ベ学校給食センターえがおや雪舟生誕地公園の竣工などに伴う普通建設事業費の減額（12億3千万円）や、平成30年7月豪雨災害に係る災害復旧事業がほぼ完了したことなどにより、災害復旧費が4億900万円減額する一方、補助費は、国民一律10万円の特別定額給付金の給付や、経済対策として実施した「お持ち帰りDEお得券」や「そうじゃ復活券」の発行に伴う償還金、及び令和2年度から公営企業会計へ移行した下水道事業会計への補助金など、84億4,500万円と大幅に増額しています。公債費は減少していますが、総社小学校改築事業など近年の大型建設事業に対する償還が始まるため、今後も高い水準で推移するものと見込まれます。
- 引続き予想される社会保障関連経費や公共施設等の維持補修費の増大に加え、新庁舎の建設が本格化するなど、厳しい財政運営が見込まれる中、ウィズコロナ・アフターコロナの社会に対応し、人口増や地域経済の活性化を図り、より一層の健全財政に努める必要があります。

令和2年度決算の概要

令和2年度の各会計の決算は次のとおりです。

(単位：千円)

会計区分		歳入 A	歳出 B	差引 C=A-B	3年度への 繰越財源 D	実質収支 C-D
一般会計		36,081,416	34,927,810	1,153,606	273,326	880,280
特別会計	国民健康保険	6,737,311	6,483,850	253,461	0	253,461
	後期高齢者医療	881,669	878,839	2,830	0	2,830
	介護保険	6,011,436	5,977,323	34,113	0	34,113
	国民宿舎事業費	525,682	525,674	8	0	8
	計	14,156,098	13,865,686	290,412	0	290,412

◎令和2年度に実施した主な事業（一般会計）

(単位：千円)

・特別定額給付金支給事業	6,984,600
・私立保育所等の運営に対する委託事業	1,729,498
・各種障害福祉サービスに係る給付	1,211,822
・そうじゃ復活券事業	762,229
・障害児施設通所費等支給事業	382,043
・水道事業会計負担金	361,134
・ふるさと納税関連経費	299,627
・GIGAスクール端末整備事業	292,897
・小児医療費の給付	220,348

○国民健康保険・・・県を保険者とする国民健康保険の保険料の収納や医療費の給付などの運営に係る収支を経理しています。

○後期高齢者医療・・・75歳以上のすべての方と、一定の障害があると認定された65歳以上の方が加入する高齢者の医療制度として運営しています。

○介護保険・・・・・・・・総社市を保険者とする介護保険の保険料の収納や介護費の給付などの運営に係る収支を経理しています。

○国民宿舎事業・・・・・・・・国民宿舎「サンロード吉備路」の運営を行っています。

歳入の状況（一般会計）

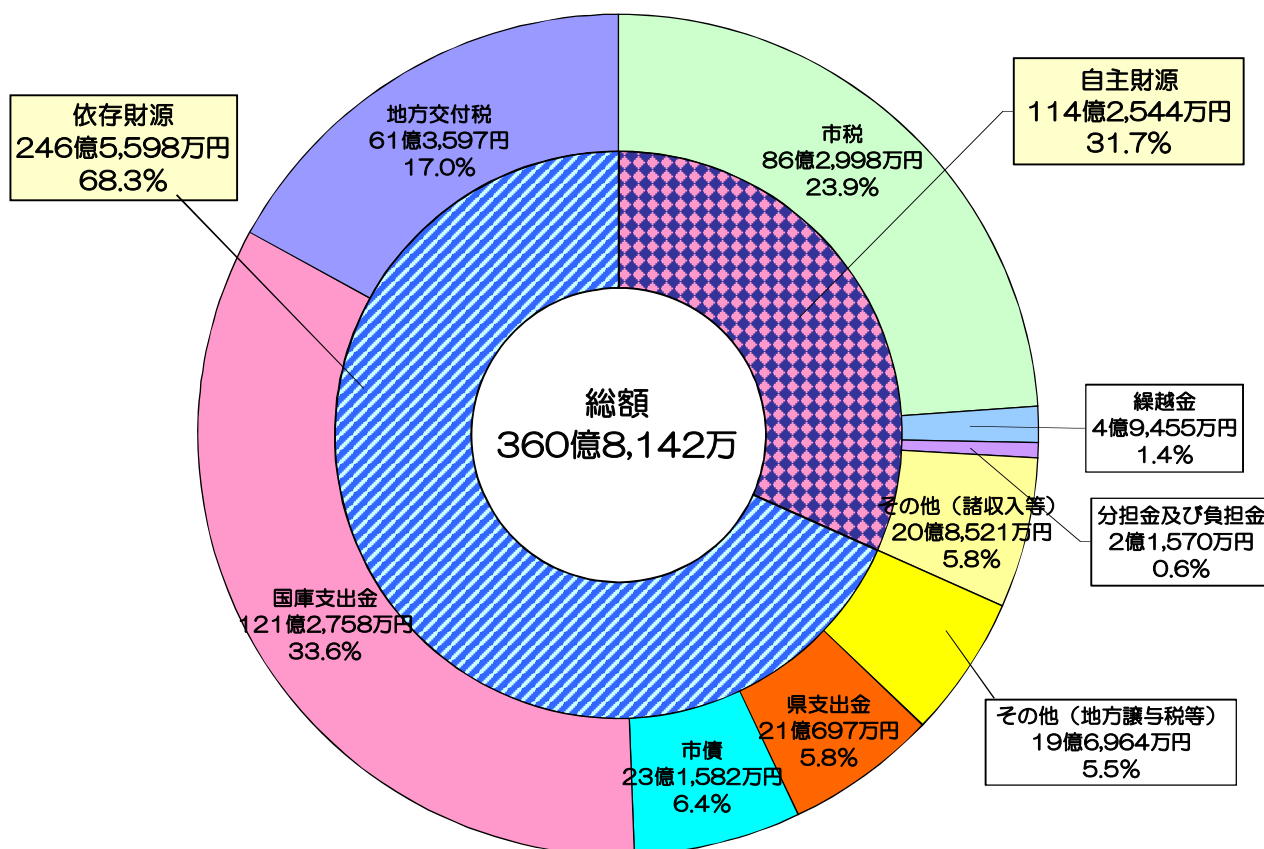
●歳入の概要

（単位：千円，％）

区分	内容	令和2年度	
		決算額	構成比
市税	市民税(個人・法人), 固定資産税(土地・家屋・償却資産), 都市計画税など	8,629,976	23.9
繰越金	決算上の剰余金及び前年度から繰り越された事業の既収入財源	494,545	1.4
分担金及び負担金	市の行う事業により利益を受ける者から, その受益を限度として徴収するもので, 保育所保育料や農林業施設整備費分担金など	215,705	0.6
その他	使用料及び手数料, 寄附金, 繰入金, 諸収入など	2,085,210	5.8
自主財源 小計		11,425,436	31.7
地方交付税	地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため, 財政状況に応じて交付される税	6,135,973	17.0
国庫支出金	市が行う特定の事務・事業に対して国が支払う負担金, 補助金, 交付金など	12,127,579	33.6
市債	公共施設整備などのために市が国や金融機関から長期的に借り入れる資金	2,315,821	6.4
県支出金	市が行う特定の事務・事業に対して県が支払う負担金, 補助金, 交付金など	2,106,967	5.8
その他	国税の一部が市道延長・面積等によって譲与される地方譲与税や地方消費税の一部が市の人口・従業者数等によって交付される地方消費税交付金など	1,969,640	5.5
依存財源 小計		24,655,980	68.3
合計		36,081,416	100.0

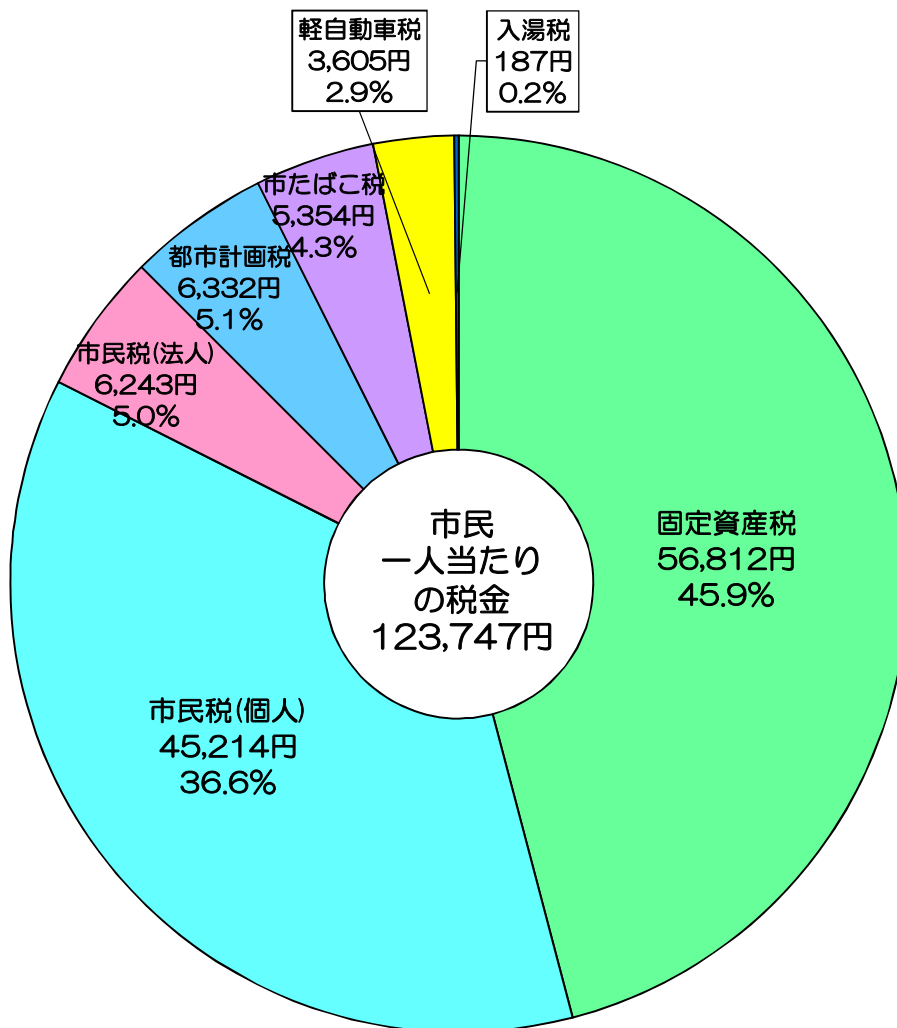
自主財源…市が自主的に得られる財源（市税や施設の使用料，証明書等の発行手数料，事業の分担金）

依存財源…国や県の基準に基づいて交付される財源（地方交付税，国や県からの補助金，市債）



●市税収入の内訳

	市 全 体		市民一人あたり (円)	一世帯あたり (円)	備 考
	金額(千円)	構成比(%)			
固定資産税	3,962,003	45.9	56,812	136,904	人口：69,739人 世帯：28,940世帯 令和3年3月31日現在
市民税(個人)	3,153,209	36.6	45,214	108,957	
市民税(法人)	435,389	5.0	6,243	15,044	
都市計画税	441,606	5.1	6,332	15,259	
市たばこ税	373,373	4.3	5,354	12,902	
軽自動車税	251,380	2.9	3,605	8,686	
入湯税	13,016	0.2	187	450	
合 計	8,629,976	100.0	123,747	298,202	



歳出の状況（一般会計）

●歳出の概要

◆目的別決算の内訳

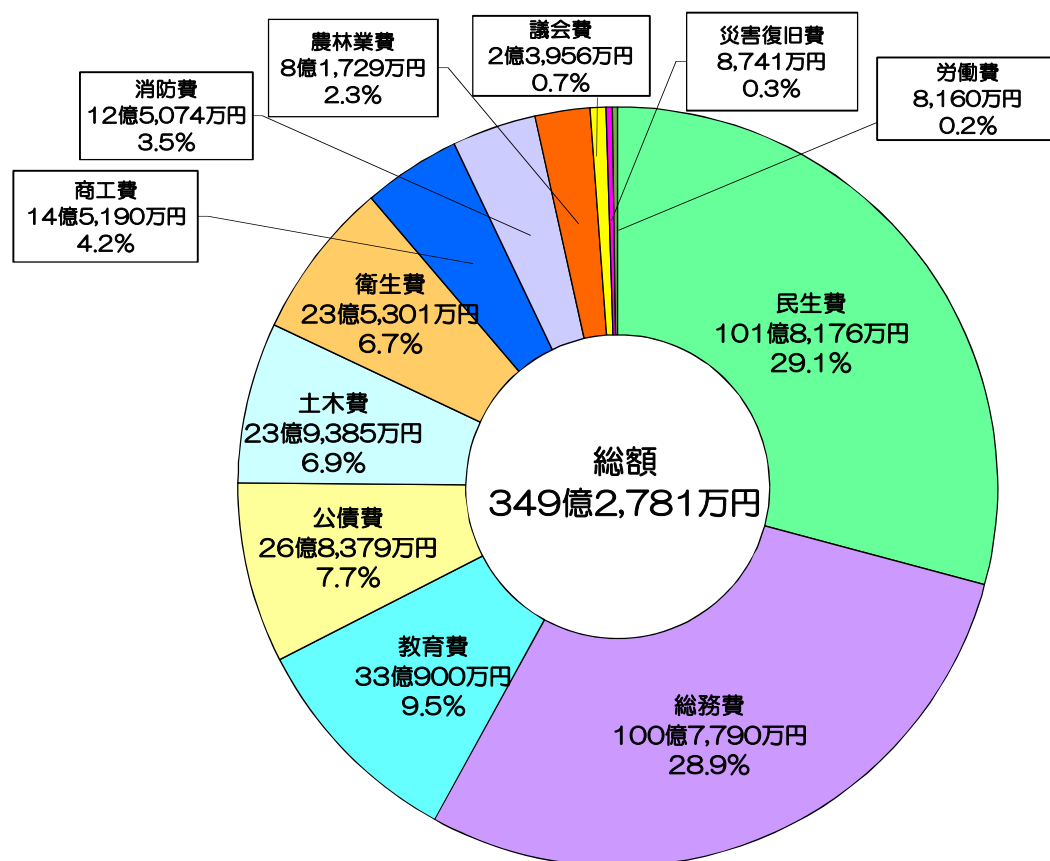
（単位：千円，％）

科目	内容	令和2年度	
		決算額	構成比
民生費	高齢者、障がい者の福祉サービス，子育て支援や保育所の運営	10,181,759	29.1
総務費	行政全般の事務管理，税の徴収や戸籍管理，ふるさと納税に関する経費	10,077,897	28.9
教育費	幼稚園や小中学校などの維持管理や文化・スポーツの振興	3,308,997	9.5
公債費	借り入れた市債の元金や利子の返済	2,683,793	7.7
土木費	道路，河川などの社会資本整備や維持管理	2,393,845	6.9
衛生費	健康増進，疾病予防や環境保全，ごみ処理	2,353,008	6.7
商工費	商工業や観光の振興	1,451,901	4.2
消防費	消防や火災予防，水防などの災害対策	1,250,740	3.5
農林業費	農林業の振興支援や生産基盤の整備	817,293	2.3
議会費	議会運営	239,561	0.7
災害復旧費	災害時の復旧事業	87,412	0.3
労働費	雇用対策や勤労者の支援	81,604	0.2
歳出合計		34,927,810	100.0

市民一人あたりの経費

500,836 円

福祉や保育からなる民生費が全体の29.1%を占め，最も大きな割合となっています。次いで総務費が28.9%を占めています。

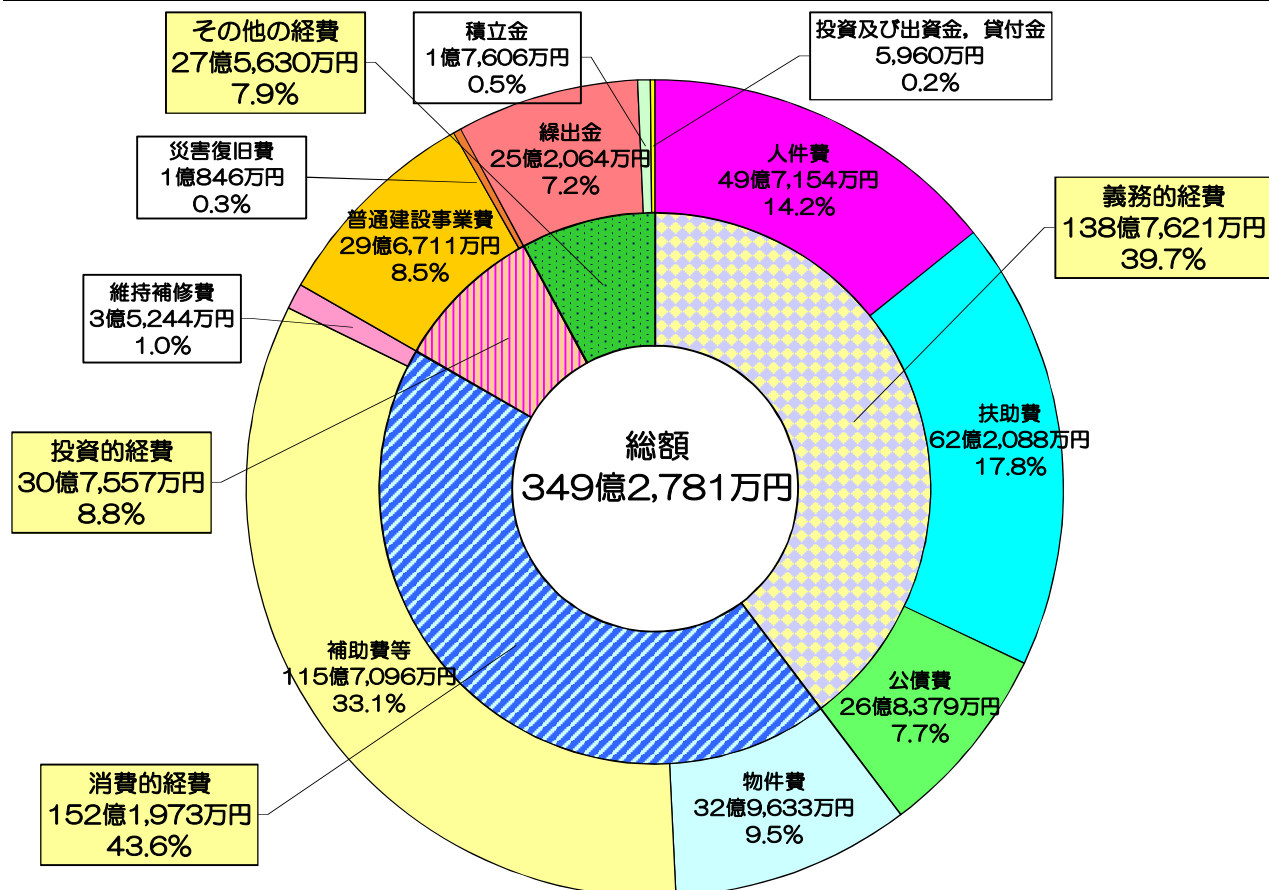


◆性質別決算の内訳

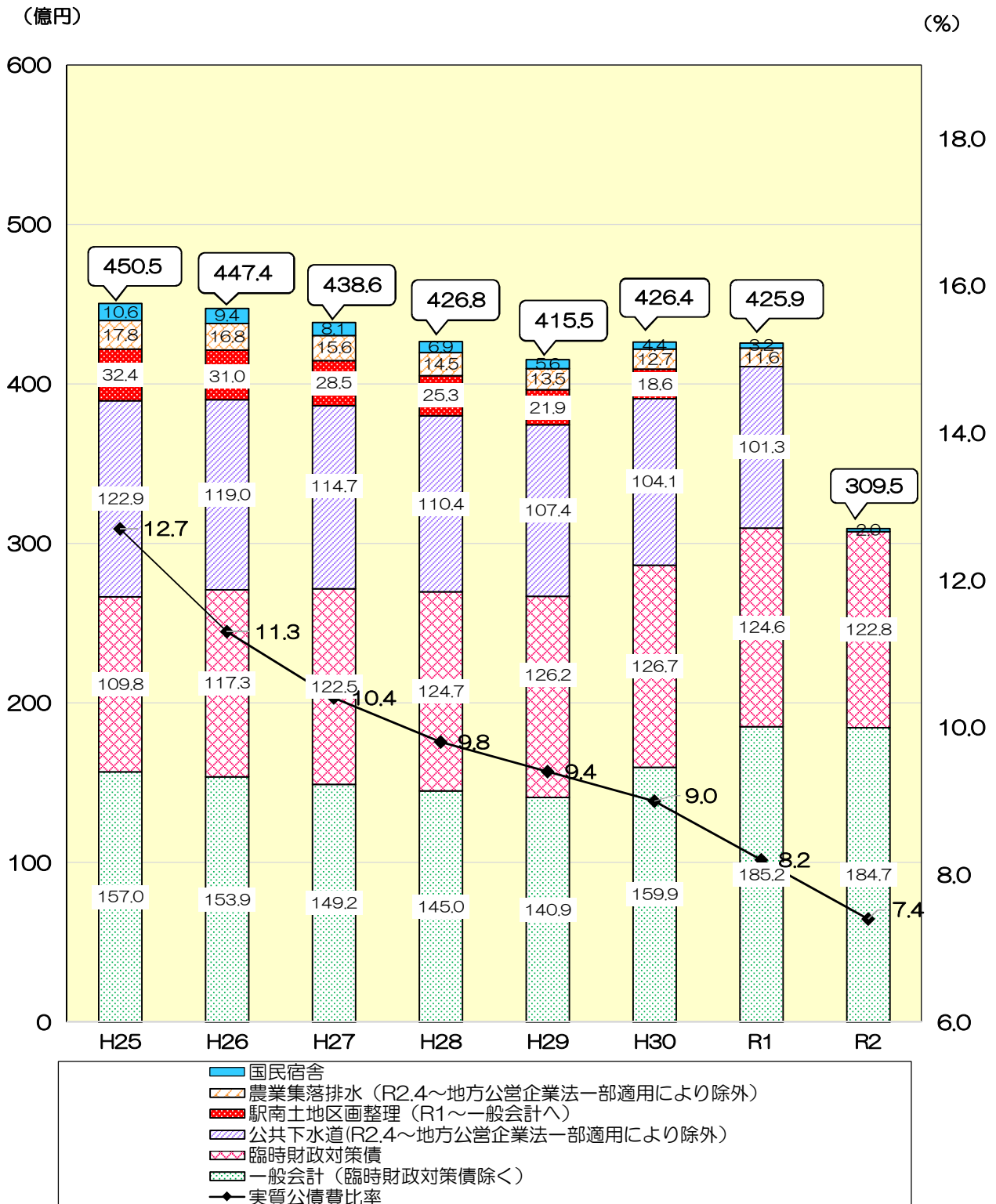
(単位：千円，%)

区 分	内 容	令 和 2 年 度	
		決 算 額	構 成 比
人 件 費	職員の給与や退職金，議員や非常勤職員の報酬など	4,971,535	14.2
扶 助 費	児童手当や小児医療費助成などの児童支援，生活困窮者や高齢者の支援	6,220,881	17.8
公 債 費	借り入れた市債の元金や利子の返済	2,683,793	7.7
義務的経費 小計		13,876,209	39.7
物 件 費	消費的性質を有する経費で賃金，旅費，需用費，役務費など	3,296,337	9.5
補 助 費 等	市から団体や個人に対して，行政上の目的により交付する現金的給付で，報償費，負担金，補助金及び交付金など	11,570,958	33.1
維 持 補 修 費	市が管理する道路や公共施設を維持するための費用	352,439	1.0
消費的経費 小計		15,219,734	43.6
普 通 建 設 事 業 費	道路の整備，小中学校やその他公共施設の建設や改修	2,967,110	8.5
災 害 復 旧 費	大雨などの異常天候の災害により被災した施設の復旧	108,461	0.3
投資的経費 小計		3,075,571	8.8
繰 出 金	一般会計と特別会計との間での資金運用	2,520,641	7.2
積 立 金	年度間の財源変動に備え，積み立てるもの	176,059	0.5
投 資 及 び 出 資 金 ， 貸 付 金	公益上の必要による法人への出資や現金の貸付	59,596	0.2
その他の経費 小計		2,756,296	7.9
歳 出 合 計		34,927,810	100.0

義務的経費が全体の39.7%を占めています。義務的経費は支出が義務付けられ，任意に削減できないことから，この割合が多くなるほど財政の硬直化が進みます。



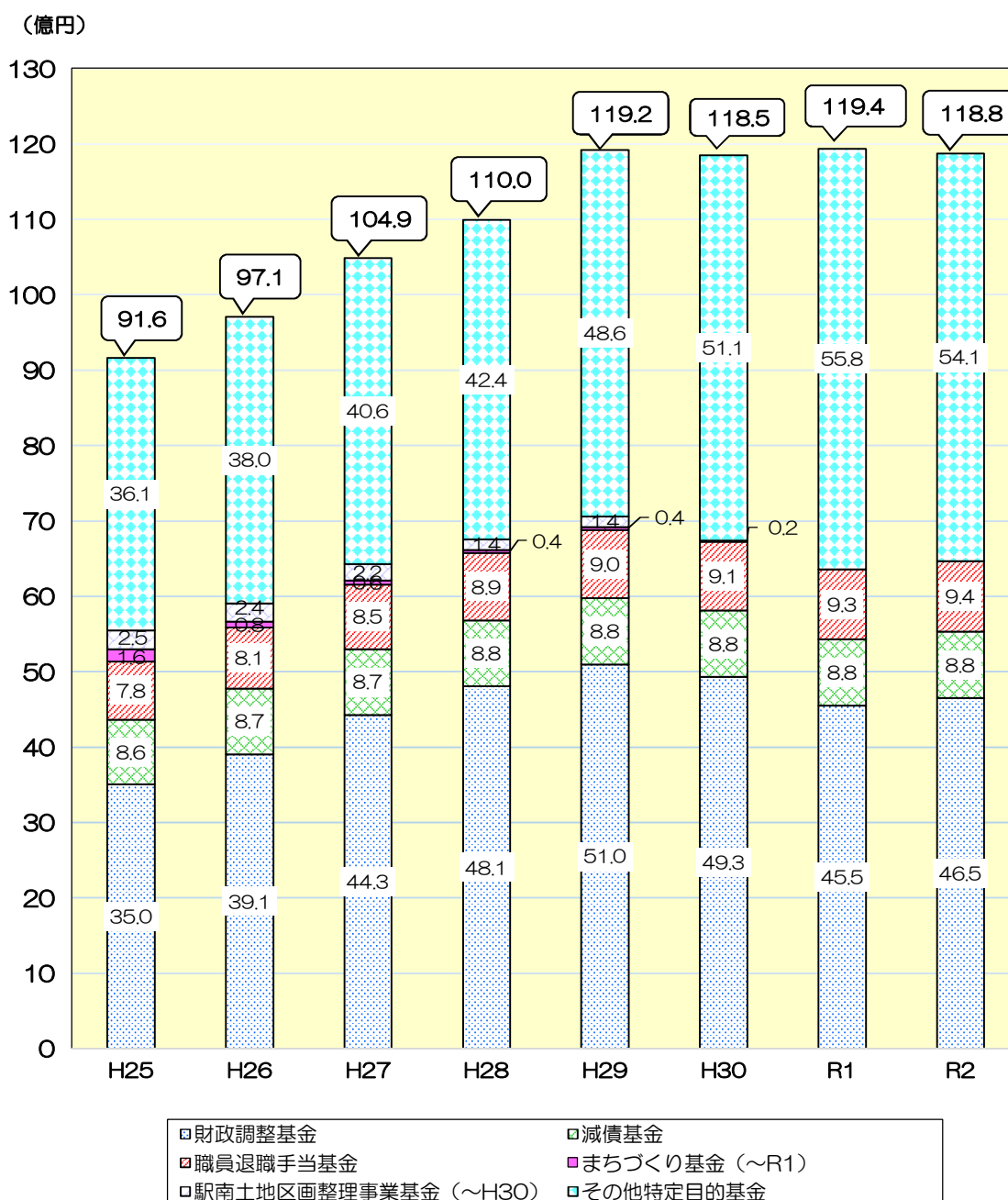
市債残高・実質公債費比率の推移



総社市では、一般会計等が負担する交際費及びこれに準じる経費の割合を示す実質公債費比率について、年々改善してきています。

しかしながら、総社小学校改築事業、学校給食共同調理場の新設等、近年の大型建設事業に対する償還が始まる見込みであることや、新庁舎建設事業等の大型建設事業を進めていることなどから、引き続き厳しい水準で推移することが予測されます。

基金残高の推移（普通会計ベース）



市の預貯金に相当する基金には、年度間の財源の不均衡を調整する財政調整基金や市債の償還に必要な財源を確保し債務の軽減を図ることを目的とした減債基金、そのほか教育や文化振興など特定の目的のために積み立てられる特定目的基金があります。

令和2年度は財政調整基金へ約1億円積立てましたが、庁舎等整備事業基金の取り崩し等により基金の現在高は減少しています。今後、さらに見込まれる社会保障関係経費の増大、また災害の発生等にも確実に対応できるよう、基金残高の確保に努めています。

総社市の決算を家計簿にしてみると

総社市の決算を身近に感じていただけるように、令和2年度一般会計決算状況を1ヶ月の収入が50万円の家庭に例えて、1ヶ月分の家計簿を作ってみました。

(単位：円, %)

毎月の収入			毎月の支出		
項目	金額	構成比	項目	金額	構成比
給料(市税)	119,500	23.9	食費(人件費)	68,700	14.2
パート (使用料・手数料など)	28,500	5.7	医療費・養育費(扶助費)	86,200	17.8
前月からの繰越 (繰越金)	7,000	1.4	ローンの返済 (公債費)	37,300	7.7
貯金の取崩し (繰入金)	3,500	0.7	光熱水費・通信費 (物件費)	46,000	9.5
自主財源 小計	158,500	31.7	家の増改築 (普通建設事業)	41,100	8.5
親からの援助 (地方交付税, 地方譲与 税など)	112,500	22.5	町内会, サークル会費 (補助費等)	160,200	33.1
兄弟からの援助 (国・県支出金)	197,000	39.4	子どもへの仕送り (繰出金)	34,800	7.2
ローンの借入 (市債)	32,000	6.4	貯金(積立金)	2,400	0.5
依存財源 小計	341,500	68.3	その他 (維持補修費, 災害復旧 費, 貸付金)	7,300	1.5
合計	500,000	100.0	合計	484,000	100.0

食費, 医療費・養育費, ローンの返済といった, なかなか減らせないお金(義務的経費)が19万2,200円ありますが, 家族で稼いだお金(自主財源)は15万8,500円しかなく, 親, 兄弟からの援助やローンの借入を受けた上で, 生活が成り立っています。

今後は, 親からの援助(地方交付税等)が減少する一方, 必要な経費は更に増加すると見込まれます。これからも, より良い生活と健全な家計を維持していくためには, 節約を徹底し, 必要性や効果をよく検討した上で, 収入の使い道を決めていくことが必要です。

令和3年度上半期の財政事情

- 本年度上半期の我が国の経済情勢は、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という。）の影響により依然として厳しい状況にあり、令和3年9月の内閣府による月例経済報告によれば、先行きについて、「感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、内外の感染症の動向、サプライチェーンを通じた影響によるリスクの高まりに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。」と指摘しています。
- 本市では、令和2年度決算において、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき示された「健全化判断比率（①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率の4指標）」並びに「資金不足比率」について、いずれの指標も早期健全化基準などを下回っています。
- しかし、社会保障関係経費や公共施設等の維持補修費などの増大、令和6年度完工に向けて新庁舎の建設が本格化するなど、今後も多額の財政負担が見込まれています。また、今年度上半期においては、感染症対策として、ワクチン接種にかかる経費をはじめPCR検査費用の支援や、第2弾となるそうじゃ復活券を発行するなどの経済対策を行ってきました。並行して、豪雨災害からの復興復旧事業を着実に進めるとともに、新たに「健康サイクリング」事業を行うなど、「あなたにとって一番やさしいまち 総社」の実現に向けた取組みも強化しています。一方、歳入は感染症の影響を受け、税収減が予測されており、依存財源に頼らざるを得ない状況が想定されます。
- このような財政状況の中でも、本市の強みである社会的に弱い立場にある方々に徹底的に寄り添う施策を推し進め、最少の経費で最大の効果を生むことで財源を確保し、コロナ禍のピンチをチャンスに変えて、更に人口が増加する総社市を将来へ導ける財政運営に努めてまいります。

令和3年度 上半期財政運営の状況

■市有財産の状況（令和3年9月30日現在）

区 分		現 在 高	
公 有 財 産	土 地	4,698,943 m ²	
	建 物	256,855 m ²	
	山 林	1,646,466 m ²	
	有 価 証 券	342,781 千円	
	出 資 に よ る 権 利	3,392 千円	
債 権		240,552 千円	
基 金	一 般 会 計	財 政 調 整 基 金	4,649,960 千円
		減 債 基 金	880,314 千円
		職 員 退 職 手 当 基 金	935,830 千円
		小 計（以上3基金）	6,466,104 千円
		そ の 他 特 定 目 的 基 金	5,412,984 千円
		計	11,879,088 千円
	合 計	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	615,017 千円
		介 護 給 付 費 準 備 基 金	574,766 千円
		国 民 宿 舎 運 営 基 金	3 千円
		土 地 開 発 基 金	327,546 千円
		合 計	13,396,420 千円

■一時借入金の現在高（令和3年9月30日現在）

（単位：千円）

会 計 区 分	現 在 高
一 般 会 計	0
国民健康保険特別会計	0
介護保険特別会計	0

■基金繰替運用の状況（令和3年9月30日現在）

（単位：千円）

区 分	繰 替 運 用 金
財 政 調 整 基 金	0
減 債 基 金	0
職 員 退 職 手 当 基 金	0

※基金繰替運用とは、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。

■債務負担行為の状況（令和3年度8月補正予算まで）

（一般会計）

（単位：千円）

科 目	件 数	限 度 額	当 該 年 度 以 降 の 支 出 予 定 額
議 会 費	2	2,218	1,748
総 務 費	6	414,014	413,789
民 生 費	18	2,047,545	2,047,545
衛 生 費	4	53,446	53,446
農 林 業 費	100	1,037,824	534,490
商 工 費	1	125,200	93,900
土 木 費	1	41,500	41,500
教 育 費	10	1,500,441	1,379,839
合 計	142	5,222,188	4,566,257

※限度額が文言等で記載されているもの

- ・ コンビニエンスストア収納業務委託 1 件
- ・ 住宅災害復旧等資金利子補給事業に関するもの 1 件
- ・ 農業近代化資金利子補給ほか 2 件
- ・ 損失補償に関するもの 1 件
- ・ 新型コロナウイルス感染症対応中小企業融資支援補助金 1 件

市債の現在高見込額（一般会計）

令和3年度末 合計 31,233百万円

(単位：百万円)

